

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）①

フリガナ	フジ ショウコ			
氏名	藤井 祥子			
派遣希望区	<input type="checkbox"/> 市内全域 <input checked="" type="checkbox"/> （青葉区・緑区・瀬谷区）			
支援専門分野（注1）		支援専門分野の内容		
ルール又はプランづくり等	○	地域まちづくりプラン 地域まちづくりルール 地区計画 建築協定 景観計画 景観協定 まち普請事業 その他地域のまちづくりに関する計画		
市街地開発事業等		土地区画整理事業 市街地再開発事業		
防災まちづくり等		横浜市の制度を活用した地震火災対策 防災マップの作成・活用 多世代向け防災イベントの企画・運営 密集市街地の改善		
その他得意とする分野（複数選択可）	地域福祉（高齢者・障がい者・子育て支援等） 防犯 水・緑・環境 歴史・文化・アート 空き家・空き地の利活用 商店街活性化 狭あい道路整備 耐震改修 共同建替 <u>コミュニティの再生</u> 地域の活動拠点運営 地域公共交通 ICT・WEBの活用 その他（ ）			
支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 （200文字以内かつ9行以内）
	建築協定から地区計画への移行及び街並みガイドラインの作成まち普請事業等	青葉区 美しが丘中部地区	平成10年～ 令和7年	約30年運用してきた建築協定から地区計画への移行を支援した。地区計画作成以降は、建築協定の良さを地区計画で失わないよう街並みガイドラインを作成し、その後2回の改定を行っている。アセス委員会の立上げ及び運営の随時支、地域住民による様々なまちづくり支援活動の展開を支援、まち普請事業では、アセス委員会内に部会を設け、外部支援者とともに活動を支援した。横浜市コーディネーターとしての支援を超えた地域との関わりが現在も続いている。
地区計画変更及び景観協定の策定、協定の改定	町田市 しあわせ野東地区	平成5年～ 平成30年/ 令和7年	農住区域土地区画整理事業とともに定められてきた地区計画の住民提案による地区計画変更を実現した。当初、共同住宅のみしか建てられなかった地区に戸建て住宅も建てられるよう変更。地区計画変更後も地域環境が守られるよう、全員合意の景観協定を締結するための支援及び運営委員会の立ち上げ及びその後の活動・運営支援を平成30年まで行ってきた。今年、景観協定を10年運用してきたが別な形のルール化への移行を検討中。	

（注意）支援専門分野は、横浜市まちづくりコーディネーター等及びまちづくり支援団体の登録等に関する要綱の別表第1を参照してください。

※注意：このシートは横浜市の
ホームページ等で公開されます。

まちづくりコーディネーター 登録シート（閲覧用）②

支援専門分野に関する支援の実績等	支援専門分野の内容・支援可能なテーマ	地区名	時期	支援内容等 ※ 支援の成果も含め、できるだけ具体的にお書きください。 (200文字以内かつ9行以内)
	町田市住みよ いまちづくり 条例に基づく まちビジョン 等の作成	町田市 小山田中部 地区	平成30年 ～令和7年	かつて土地区画整理事業が計画されてきた市街化調整区域について、近年の鉄道・モノレールの延伸計画に伴う地域活性化と自然環境保全を両立させるルール作成支援を継続中。地域住民と行政の思いがすれ違わないか、双方の考えを繋ぎながら条例に基づく「まちビジョン」等の作成を検討。森林保全・耕作放棄地の活用などは農政部局の協力も得ながら、住み続けられる郊外農住地域にむけたまちづくりの検討と活動支援を進めている。

自身の考えるコーディネーターの役割とまちづくりのポイント（500文字以内）

- ・地区のまちづくり活動支援について幅広く取り組んできました。青葉美しが丘中部地区とは25年を超えるつきあいとなりました。世代交代も3代目を迎えようとしているところです。見える活動の積み重ねが新たな世代の協力も引き出していると感じています。
- ・まちづくりは時代とともにあるものだと考えています。10数年前に最適と考えていた計画にも見直しが必要なこともあるかと思えます。そのようなお悩みについても、共に考えていくことができれば、と考えております。
- ・まちづくりの主役は、地域住民等の皆様ですので、コーディネーターはそのお手伝いをする立場と考えています。必要に応じて他の専門家とのつなぎ役になることや皆様の想いを実現するためのお手伝いをするこそコーディネーターの役割と考えております。

必要に応じて資料をA4判1ページまで添付できます。